

今回も元気な活動を大追跡！
田中やすのりおっかけ放送局

田中やすのり 区議会レポート

www.tanaka-yasunori.jp

2010年8月発行 Vol.9



2010
6/9
ON LIVE

本会議にて6回目となる
一般質問を行う！
板橋区役所/本会議場



4年目の議会活動に入り、通算で6回目となる一般質問を行った。念密な調査活動を背景にした、提言型の質問を続けています。

地域の底力を引き出し、地域コミュニティを活性化させるための質問を始めとして、特別支援教育・危機管理のための事業継続計画の策定などについて提言を行う！！

一般質問は板橋区で行う行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針・計画などについて所信を質したり、疑問を資することができます。自由に質問ができるので個人の政策提言をぶつけることができると同時に、区民の声も反映しやすい質問の機会と考えています。

今回は入念に調査活動を行い、政策提言の準備を整えて質問に臨みました。私は常々、質問の機会をもらった際には、単純に区政の状況を問うようなことを行うのではなく、なるべく提言的な質問を多く行いたいと考えています。今回も立案した政策の実施可能性などを質問。すべてが納得のいく答弁を引き出すには至っていませんが、一步一步と区政は前に進んでいると実感しています。

※田中やすのりからの質問と答弁のダイジェストは次ページをご覧ください。

区政報告会

今年で3回目となる報告会が行われる！

4/4・成増アクトホール

いたばし

区民タイムス

=日本地方新聞連盟・東京都新聞協会加盟紙=

毎月1日・15日 2回発行

発行所 区民タイムス社
板橋区赤塚3-27-11-104
TEL (3930) 4060
編集発行人 小林 照夫
購読料 1年5,000円

区政報告会が無事に終了しました。当日は区民タイムスの取材を受け、大きな記事として掲載して頂きました。

↓当日の報告会の様子



田中やすのり区議(民主)の区政報告会が、四月四日(日)午後七時から、成増アクトホール和室において開催された。会は、来賓の円より子参議院議員(党都連会長)と熊木美奈子都議(都議団副幹事長)から都の政治状況をかねて、田中区議の真摯な活動に対して期待を込めての挨拶がある。



田中やすのり区議

と、これからの残り一年間の政策提言について訴えさせていただきます」と、参加者の手元に配布された「板橋区政報告資料」をもとに約30分にわたり報告された。

紙面の関係で省略しますが、区政報告会資料は①マニフェストの進捗②要望が実った施策③来年度以降の区の課題の三項目に大別し、その中にはキメ細かく、施策の採点や今後の課題などカラ1刷り17頁にわたり記述されており、他の議員の区政報告会には見られぬ神経の行き届いた政策集でなかるうか。田中区議の真摯な政治姿勢に賛辞を送りたい。

区政報告会資料を元に実績や政策提言

田中やすのり区議区政報告会

↑区民タイムスに掲載された記事。報告会資料は田中やすのりWebページにて閲覧できます。

特別支援教育について

質問①

発達障がい児への特別支援教育の充実を！

Q: 発達障がい児の適正な時期での把握に有用な「5歳児健診」の実施を！

厚生省の研究では、「5歳児健診」を行えば、小中学校で把握される軽度発達障がい児のほとんどを発見できると示唆されている。区としてもその早期実施を実現していくべきである。

A: 現在、保健所、健康福祉センター内で5歳児健診のあり方について検討を行っている。今後の実施計画については、医師会、専門医療機関とも調整をしながら考えていきたい。



5歳児健診の有用性が極めて高いことは明らかになっているにもかかわらず、現在の母子保健法では5歳児健診には特に定めがありません。しかし、こうした状況においても、全国各地で健診の取り組みが始まっています。23区では既に目黒区が実施しており、千代田区も2010年10月から開始を予定しており、都内でも広がりつつあります。板橋区においても早期に5歳児健診が開始されるように引き続き実施を促していきます。

防災・命を守る施策について

質問②

行政に求められる危機管理の対策

Q: 事業継続計画(BCP)の早期の策定を！

自然災害や新型インフルエンザなどによって社会機能が危機にさらされる事態が各地で生じている。こうしたリスクを予め予測し、行政の事業を継続していくことへの備えである「事業継続計画(BCP)」の策定が必要ではないか？

A: 本年度は新型インフルエンザ編のBCPの策定を優先して取り組んでいる。震災編BCPの策定は、被害想定、応急対策業務などの検討課題が多いため、来年度の策定を目指していきたい。



23区を見ると大規模災害を想定したBCPでは既に杉並・中野区などの5つの区でBCPの策定が完了し、8つの自治体でも作成中となっている。なぜ積極的に策定へと向かっていかないのか疑問が残る。区では平成23年度以降に取り組むことになっているが、早期の策定を継続して求めていく。

Q: 区内施設に設置されているAEDを24時間いつでも利用を可能に！

現在、区内施設に設置されているAEDは、夜間においては使用ができない。しかし救命の観点から24時間いつでもAEDが必要になるか分からない。施設の安全管理において課題があることは理解するが、夜間においてもその利用が実現するように管理運用面での工夫を求める。

A: 24時間使用については、施設管理の面から難しいところである。ただし、都内交番もAEDを導入予定という報道もあり、こうした状況を見ながら検討を進めていきたい。



区内施設の管理面をクリアしてほしい。AEDの保管場所を一部の人に管理を託すなどして、救える命を優先するような区政を求めていきます。